

急 告

秋季大会は気象大学校校舎改修工事のため会期を下記の通り繰延べます。

記

12月5日(水) 6日(木) 7日(金)

昭和 37 年度 例会

例会には第1部と第2部とがあります。

第1部 一般研究発表

第2部と同じ日に行なわれます。希望者は講演題目、要旨、所要時間を学会所定の講演申込用紙に記入して
東京都杉並区馬橋 気象研究所 今井一郎 あて申し込むこと。

第2部 選定題目講演会

次の日程に従って行なわれます。講演申込と詳細の照会はそれぞれの受持委員にしてください。

主 題	会期	申 込 締 切 日	受 持 委 員
気象災害	10月	8/31日	研 究 所：渡辺
風のシンポジウム	11月	9/30日	測 器 課：清水
気象統計	11月	9/30日	長期予報：朝倉
台風	12月	10/31日	予 報 課：石原 研 究 所：松本 研 究 所：渡辺
生気候	12月	10/25日	
太陽活動と放射	(38年) 1月		長期予報：朝倉

主 題	会期	申 込 締 切 日	受 持 委 員
気象電気	1月		研 究 所：今井
気候	1月		長期予報：朝倉
長期予報	2月		長期予報：朝倉
レーダー気象	2月		研 究 所：今井
観測と測器	2月		測 器 課：清水
メソ気象	3月		研 究 所：松本
対流雲	3月		研 究 所：松本 研 究 所：今井
航空気象	3月		研 究 所：渡辺 東京航空：上松

例会の研究発表募集

関東中部地区気象研究会 (東管と共催)

会期：10月17日(水)、18日(木)、会場：新潟県川岸町
2丁目 新潟県職員厚生財団 白水荘、申込先：東京都
千代田区大手町1の7東京管区気象台 藤田兼吉 〆切
期日 10月6日

台 風
会期：12月14日(金) 会場：未定 申込先：東京都杉並
区馬橋 気象研究所 相原正彦、渡辺和夫、気象庁内
石原健二 〆切期日：10月30日
生 気 候 (国際生気象学会日本支部共催)
会 期：12月3日 会場：京都市国際観光ホテル
申 込 先：東京都杉並区馬橋 気象研究所 神山恵三
〆切期日：10月25日

例会のお知らせ

主題 気象災害
会期：昭和37年10月26日(金) 9時より
会場：気象庁 第1会議室

- 1 蔵重 清(気研)：
第2室戸台風による新潟県下の風害 (10分)
一山間部と平野部被害の地域性について
- 2 奥田 譲(気研)：
台風経路と暴風の地域性に関する研究 (15分)
- 3 荒井 隆夫(気象庁)：
台風災害の一特性 (15分)
- 4 渡辺 次雄(気大)：
気象災害構造マトリックスについて (20分)
一気象災害の理論的研究 (12)一
- 5 渡辺 和夫(気研)：防災のための気象観
測のあり方 (15分)

- 6 鯉沼 寛一(気象庁)：気象災害と気象業務 (20分)
 - 7 三井 泉(東管)：千葉県における配電
線の塩害 (15分)
 - 8 高橋浩一郎(気象庁)：予報の経済効果 (20分)
 - 9 船津 康二(東管)：台風災害について (20分)
 - 10 荒川 秀俊(気研)：近世気象災害史 (15分)
 - 11 正務 章(東管)：豪雨・強雨の再現す
る時間間隔の度数分布特性と耐用安全
期間 (20分)
 - 12 白岡 久雄(気象庁)：
日本人の災害観の古今 (20分)
- シンポジウム 防災に気候資料をどう利用するか
話題提供者 坪井八十二ほか、司会者 荒井隆夫